



写真左は、男子の部の股関節ブースでトレーニング指導を行う学生たち（右側3人）。同右は、宮崎助教の講義を受ける高校陸上部員たち



内容刷新 アスリートリハビリに特化

健康・スポーツ
教育研究センター 5年目の高校生スポーツ合宿支援

健康・スポーツ教育研究センターは8月中旬から下旬にかけ、水上村湯山地区で合宿中の高校陸上部員を対象としたスポーツ合宿支援を行いました。同村でのスポーツ合宿支援は今回で5回目。今回は、男女別の実施とするなど内容を刷新、センター教員と学生、朝日野総合病院の理学療法士が旧湯山小学校舎を会場にアスリートリハビリに特化した講義や実技指導を行いました。

10日（日）の男子の部には、主管校の九州学院など県内外から7校、約150人が参加。午前中は「障害予防とトレーニング」をテーマに、宮崎宣丞助教と荒木理恵特任講師が長距離選手に特化した障害予防やトレーニング理論について講義しました。午後からのトレーニング実技指導では、故障を抱える15選手を対象に体幹・股関節・足関節の3ブースに分かれ、本学教員の監修のもと、理学療法学専攻スポーツリハビリテーションコースの2～4年次生がトレーニング指導を行いました。

一方、女子の部は19日（火）に実施し、千原台高など5校、75人が参加。朝日野総合病院の木下夏美理学療法士が、女性特有の身体的特徴・生理学的特徴を踏まえた上で、競技と向き合う中で気を付けるべき点について講義しました。午後からのトレーニング指導では、男子の部同様、故障者を対象としたトレーニング指導を行いました。

今回は、「合宿後も実施できるトレーニング」を念頭に、高校生アスリートの自己管理に

つながる知識や技術の習得を目指しました。特に、初の開催となった女子の部では、スポーツリハビリテーションコースの女子学生（2、3年次生）がトレーナーを務めたこともあり、選手の緊張感がほぐれ、トレーニング以外の相談があるなど、話しかけやすい雰囲気が作り出されていました。（健康・スポーツ教育研究センター 中村祐貴）



女子の部の足関節ブースでトレーニング指導を行う学生たち（右側）

効果的な結婚支援は？ 県職員らと在り方探る

ワークショップに学生参加



ワークショップで意見を述べる専攻科生

行政としての結婚支援の在り方を検討するワークショップが8月22日（金）、熊本県庁で行われ、県や市町村の職員に混じり本学の大学院生、公衆衛生看護学専攻科生、助産別科生の計6人が参加しました。

これは、県が行ってきた結婚支援の在り方を整理し、より効果的な支援の方向性と具体的な事業を検討することを目的に開かれたものです。ワークショップ冒頭、ファシリテーターより、未婚者が増えることで、少子化が進行し、経済成長の停滞や現役世代の負担が増える可能性があるなどと、スライドを使って問題点を説明。引き続き、参加者は6人程度のチームに分かれ、結婚に対する不満や不安などを出し合いました。

各チームで「自分の時間が減る」といった不満をはじめ、義理の親との関係や経済的な不安、「もしも離婚したら」といった声も聞かれました。最後には、これらの不安や不満に対して、行政としてどのようにサポートすればいいかということを検討。学生たちも、終始活発にアイデアや意見を出し、積極的にディスカッションに参加していました。

(NL編集部)

私の秘話★ ヒストリー

夏

夏といえば、それぞれ色々な思い出があると思いますが、私は真夏の体育館での部活を毎年必ず思い出します。

小学4年から高校3年までバドミントン部に所属していました。シャトルを使う際は窓を閉める必要があるため、湿気と熱気の中、汗だくになって練習していました。時には、侵入者（ハト）と格闘しながら…。

夏生まれなのに暑いのが苦手な私にしてはよくやっていたなと思うのですが、バドミントン部の同期の友人は、約20年経ったこの厳しい暑さの中、子供を保育園へ送り届けた後、職場までの往復10km以上の道のりを毎日自転車通勤しているとのこと。元気な友人を見習い私も自転車で、とはとても考えられないですが、暑さに負けずにこの夏を乗り切りたいと思います。



今年の夏の思い出です。曇っていたのが残念でした（筆者撮影）

GSLPに参加した本学学生とアジア圏の大学生たち

交換研修



タイのコンケン大学、韓国の大邱保健大学との交換研修とGSLP（Global Student Leadership Program＝大邱保健大学）の3つの海外派遣留学プログラムが、8月～9月にかけて行われています。本学からは既に終了したGSLP（8月10～18日）に4人、大邱保健大交換研修（同13～23日）に10人を派遣しました。コンケン大での交換研修には、9月7日（日）から20日（土）までの予定で、6人の学生が参加しています。

GSLPでは、アジアを中心とした約10カ国の学生たちとの交流を通じ、実践的な英語力を身につけるだけでなく、韓国料理コンテストやK-POPダンスなどの魅力的なアクティビティも体験できます。大学の交換研修では、講義への参加や病院見学、観光地ツアーを通して韓国とタイの文化や医療制度について学ぶことができます。（NL編集部）

挑戦の夏海外派遣3プログラム

GSLP



大邱保健大の交換研修に参加した学生たち

「からだのふしぎ」の次は本の探検！



図書館だより

8月9日（土）に開催された「第4回からだのふしぎ探検」。今回、初めての試みとして、参加者に期間限定の図書館利用証がプレゼントされました。利用日に図書館をのぞくと、親子で図書館の魅力を体験する様子が見られました。

8月26日（月）、27（火）2日間の利用日のうち2日目は、熊本市西区池田の長田彩花さんと唯花さん（池田小4年）、梨花さん（同2年）姉妹の3人が訪れ、それぞれ気になる本や保健師の漫画などを楽しんでいます。唯花さんは、「将来はパティシエになりたいけど、自分や友達、家族に何かあった時に対応できるような知識を身につけたい」と思って、からだのふしぎ探検に参加したそうです。初めて訪れた大学図書館の印象は「たくさん本があって楽しい」そうで、「自分の好きな本を見つけない」と笑顔で話してくれました。一方、妹の梨花さんは、助産師にあこがれていて、からだのふしぎ探検の際には赤ちゃんを抱っこしたことが印象に残ったそうです。「重かったけど楽しかった」と少し恥ずかしそうに感想を語ってくれました。

図書館利用証の発行について、教学支援課

の山崎課長は「からだのふしぎ探検の特典として初めて企画。参加してくださった皆様へのお土産として、学生が少ない夏休み期間に子どもさんたちに図書館を利用してもらおうと考えました」と話していました。

（NL編集部）



お気に入りの本を見つけ読みふける長田唯花さん（左）と梨花さん姉妹

銀杏アラカルト

■ 8月期2・3年生保護者会 医学検査学科3年次生、理学療法学専攻2年次生を対象とした保護者会を8月18日（月）から、Webオンデマンド形式で開催しています。本学の基本方針や運営状況をはじめ、学生の実習、就

職、国家試験に関する説明、大学院の紹介など、多くの情報を配信中です。また、希望者に対してはSG担任との個別面談を実施します。保護者会の開催期間は9月30日（火）までです。（就職・実習支援課）

インフォメーション

週間行事予定（9月8日～9月16日）	
9/8（月）	医学検査学科 卒業研究発表会
9/9（火）～10（水）	【オンライン】合同就職説明会（リハ）
9/10（水）	熊本西高校NAIS
9/11（木）	令和7年度第1回FDセミナー